

令和4年度 経済学研究科入学試験問題（一般Ⅱ期）

専門科目：マクロ・ミクロ経済学

つぎの A、B 二つの問題群から、それぞれ一問を選び、解答しなさい。ただし、選んだ問題の番号も明示すること。

[A 群]

問 1. X 財、 Y 財の二つが存在する経済を考える。いま X 財の数量を x 、 Y 財の数量を y で表すとき、ある消費者の選好が

$$u(x, y) = x^{3/4}y^{1/4}$$

であらわされるとしよう。また X 財、 Y 財のそれぞれの価格を p_x 、 p_y 、そしてこの消費者の所得を M とする。このとき、以下の設問に答えなさい。

- (1) $p_x = 3$ 、 $p_y = 5$ 、 $M = 200$ のとき、この消費者の最適消費計画 (x, y) を求めなさい。
- (2) この問題の数値例の場合、 X 財と Y 財は「補完財」、「代替財」のいずれの関係にあるか。また、「粗代替財」、「粗補完財」のいずれにあたるか、説明しなさい。

問 2. 費用逓減産業について、以下の設問に答えなさい。なお、必要に応じて図もしくは数式を使うこと。

- (1) 費用逓減産業とは何か、説明しなさい。説明にあたっては、費用逓減産業が「自然独占」とよばれる独占企業とならざるを得ない、その理由も説明すること。
- (2) 費用逓減産業での価格設定方式として、限界費用価格形成方式と平均費用価格形成方式の二つがよくあげられる。それぞれどのような価格形成の方法か、説明しなさい。

[B 群]

問 1. 閉鎖経済の IS - LM モデルについて、以下の設問に答えなさい。モデルは以下の通りに記述できるとする。ただし記号は、 Y ：産出量、 r ：実質利率、 i ：名目利率、 $C(Y)$ ：消費関数、 $I(r)$ ：投資関数、 G ：政府支出、 $m(Y, i)$ ：実質貨幣需要、 M ：名目貨幣供給量、 P ：物価水準、を表している。

財市場の均衡式 $Y = C(Y) + I(r) + G$,

消費関数、投資関数、政府支出量 $C(Y) = 20 + 0.6Y$, $I(r) = 200 - 500r$, $G = 80$,

貨幣市場の均衡式 $m(Y, i) = M/P$,

実質貨幣需要関数、名目貨幣供給量 $m(Y, i) = 1.7Y - 1000i$, $M/P = 200$.

- (1) IS-LM モデルでは、名目利率と実質利率が等しいと仮定している。それはなぜか。名目利率と実質利率の関係をフィッシャー方程式を用いて表し、説明しなさい。
- (2) 均衡 GDP と均衡利率を導出しなさい。導出過程も記述しなさい。
- (3) 政府支出が $G = 80$ から $G = 90$ へ変化した場合、均衡 GDP はいくら増加するか。

問 2. 閉鎖経済の IS - LM モデルについて、以下の設問に答えなさい。なお、必要に応じて図もしくは数式を使うこと。

- (1) IS-LM モデルにおいて、貨幣需要の利率弾力性が大きくなった場合、金融政策（貨幣供給量の増加）の景気刺激効果はどのように変化するだろうか。理由と共に簡潔に答えなさい。
- (2) IS-LM モデルにおいて、投資の利率弾力性が大きくなった場合、財政政策（政府支出の増加）の景気刺激効果はどのように変化するだろうか。理由と共に簡潔に答えなさい。